



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

UNWTO: 2020 年の国際観光客到着数は 20-30%減の可能性

2020 年 3 月 27 日付 UNWTO 本部発表の和訳です。

原文はこちらから：<https://www.unwto.org/news>

国連世界観光機関 (UNWTO) は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が国際観光に与える可能性のある影響について、最新の評価を発表しました。観光分野の専門機関である UNWTO は、世界規模にまたがる前代未聞の旅行制限の導入を考慮し、2020 年の国際観光到着数は 2019 年の数値と比較して、20%から 30%減少すると予想しています。しかしながら、UNWTO は、これらの数値については、国際社会が社会的・経済的な未曾有の課題に直面している渦中においての最新の動向に基づくものであり、極めて不確かな現在の危機の状況を考慮し、慎重に解釈すべきであると強調しています。

予想される 20~30%の減少は、2019 年の**国際観光収入(輸出)1.5 兆米ドル**のほぼ 3 分の 1 に相当する**3,000 億~4,500 億米ドルの減少**となる可能性があります。過去の市場動向を考慮すると、これは新型コロナウイルス感染症によって、**5 から 7 年分の経済成長が失われる**ことを意味します。一方で UNWTO は、2009 年の世界経済危機の際には国際観光客到着数の減少幅は 4%であり、2003 年の SARS による減少はわずか 0.4%であったと述べています。

UNWTO のズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は、「観光は、すべての経済セク

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

Please recycle



ターの中で最も深刻な打撃を受けています。しかしながら、観光はまた、この非常に重大な公衆衛生上の緊急事態に対処するために、団結することを促進し、最優先事項とします。また、危機の影響、特に雇用への影響を軽減し、また、世界中に雇用を提供し、経済的福祉を増進することを通して、より広範な復興への取組を支援するために協働します。」と述べました。

被害の緩和と復興計画

ズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は、これに加えて、新型コロナウイルス感染症が観光に与える影響を十分に評価することは時期尚早だが、観光セクターにおける何百万もの雇用が失われるリスクがあることは明白であると述べました。観光事業全体の約80%が中小企業(SMEs)であり、観光セクターは女性や若年者、都市部以外のコミュニティに対して雇用の機会を提供し続けてきました。

この新たな評価とともに、UNWTOは観光の**歴史的なレジリエンス（強靱性）**と危機的状況後における雇用創出力を強調し、国際協力の重要性と復興取組の中心として観光を確実に位置づけることに重きをおいています。

新型コロナウイルス感染症が発生して以来、UNWTOは、観光セクターに助言を提供するために、**世界保健機関(WHO)をはじめとする**、幅広い国連機関と緊密に連携し、各国高官や一人ひとりの観光客に重要な提言をしてきました。また、UNWTOは新型コロナウイルス感染症への対応の強化を図るため、世界観光危機管理委員会を立ちあげました。